



パブリックサービス研究分科会 中間報告

2014.11.14(金)

太田(明星大学)、佐藤(獨協大学)、橋本(成城大学)、
長谷川(中央大学)、古庄(国立音楽大学)、
山本(日本体育大学)

目次

- これまでの活動
- 活動テーマ
- アウトプット方法



これまでの活動

- 2014.5.26 予算確認・テーマについて協議
- 2014.6.27 講義①「これからの大学図書館に求められる学生サービス」
- 2014.7.18 協議「利用者意識調査、大学図書館の存在意義について」
- 2014.9.10-12 講義②「図書館経営論の観点からみた、利用者増加のためのマーケティング」

講義①②とも、講師：加藤好郎氏（愛知大学）

活動テーマ

場・人・資料を結ぶコーディネーターとしての図書館員

- パブリックサービス研究分科会を「図書館が行う有益な利用者サービス情報の共有」のできる場と考え、
学生図書館スタッフ導入についてのレポート作成、
「図書館員の図書館員による図書館に行きたくなるフリーペーパー」をコンセプトとした
フリーペーパー刊行等を行う(予定)

研究テーマのアウトプット方法①

○レポート作成

「学生図書館ボランティア導入事例」

・はじめてみよう！ 図書館サービス・スタートブック
の実践編

・獨協大学図書館での、学生ボランティア導入に
ついて準備段階から実施までを報告

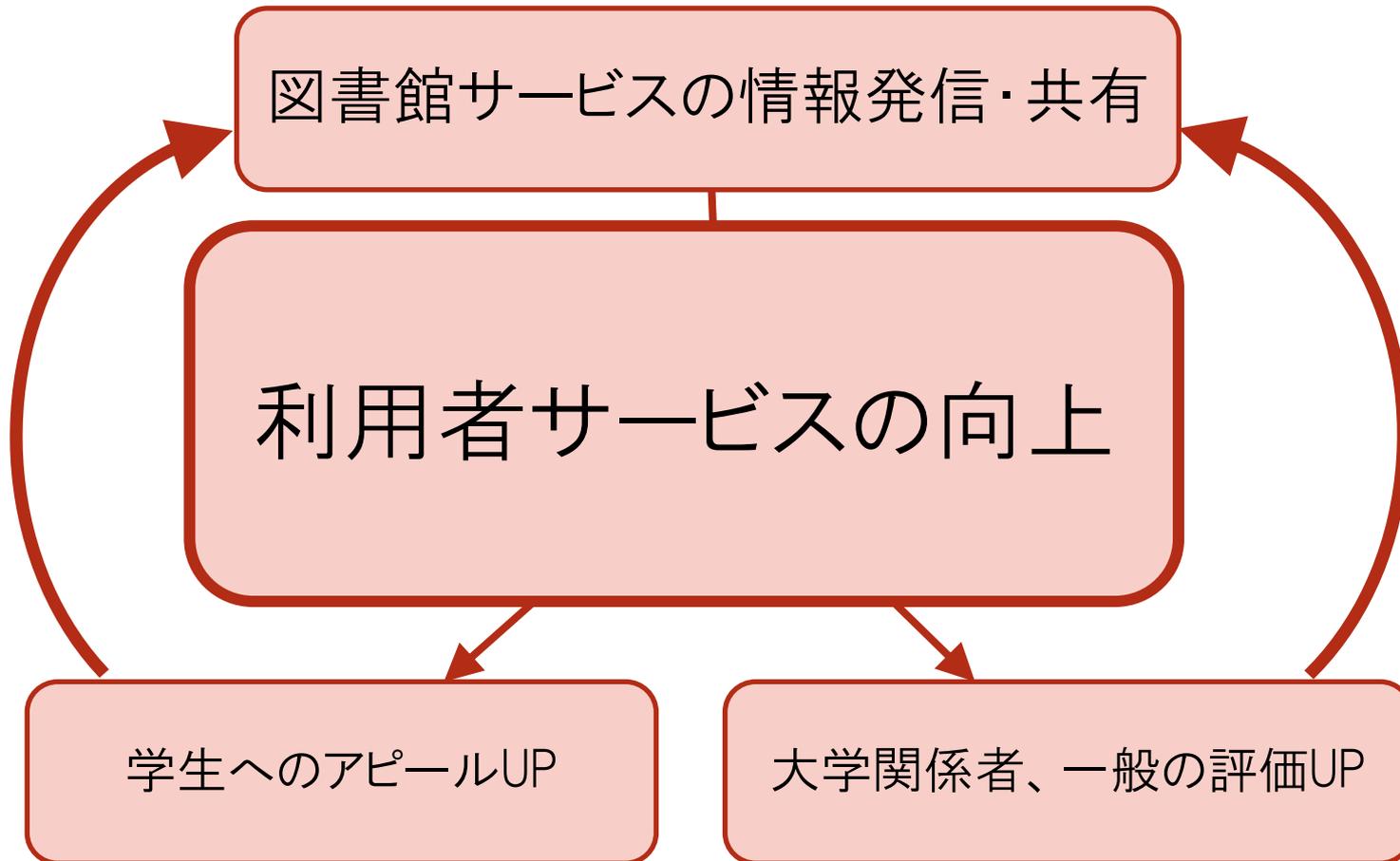
研究テーマのアウトプット方法②

○フリーペーパーの作成、配布

「図書館員による図書館に行きたくなるフリーペーパー」

- ・内容：大学図書館の魅力を「パブリックサービス」という切り口で、読者が楽しめるかたちで紹介
- ・対象：利用者（学生、教職員等）、図書館員一般の方々
- ・配布場所：各大学、図書館総合展等

フリーペーパー作成の狙い



現在候補にある記事テーマ案

- 一日図書館員体験記

- … 前述レポートをもとに作成

- 図書館留学

- … 学生が他大学の図書館を利用する様子を取材

ご静聴ありがとうございました。

